

第68回全九州高等学校登山競技大会 出場選手・監督各位
九州各県高体連登山専門部専門委員長各位

第68回全九州高等学校登山競技大会
審査委員長 藤本 裕人
(公印省略)

審査に関する連絡（重要）

時下、各位におかれましては、全九州高等学校登山大会を控えてお忙しい毎日をお過ごしのことと存じます。

さて、今年度開催の第68回全九州高等学校登山大会の審査について、下記のように連絡いたします。つきましてはご確認の上、大会に臨まれますようお願い申し上げます。また、大会は、競技の場であるとともに、教育の場でもあることを共通の理解として頂ければ幸甚に存じます。

審査は、先日各県専門委員長を通じて配付された、「登山部報第68号」に記載の全国高等学校登山大会成績評価実施要領「全国高等学校登山大会＜審査基準と指導目標＞」と「全国高等学校登山大会審査確認事例」、「チーム行動について」、「班離脱・隊離脱・行動離脱・棄権についての整理・確認」「登山大会服装規定」、「登山大会課題テスト作成の指針」に基づいて行います。「登山部報68号」の、「審査員長講評」および「項目別講評と審査報告」、今大会の「予報」と併せ、熟読の上、大会に臨まれますようお願い申し上げます。

1 計画書の作成について

- (1) 計画書は上記の全国高等学校登山大会＜審査基準と指導目標＞のⅢ.知識、8.計画書の「審査細目」、「審査確認事例」の「8 計画書」に従って作成してください。
- (2) 概念図は令和4年度より開催県事務局の作成を廃止しました。計画書の概念図の範囲については国土地理院発行の「中原」・「脊振山」・「雷山」及び「九州高体連ウェブサイトに掲載のコース地図」図幅とします。
- (3) 計画書の作成に当たっては、各参加パーティー単位で全てを自作してください。（参照：審査確認事例8(2)）
- (4) 計画書に記載すべき大会に関する内容は6月27日（金）までに九州高体連ウェブサイトに記載された要項・予報・コース地図、及び今回「審査に関する連絡」で示した内容は計画書に反映させてください。訂正線と手書きによる訂正の記述、または加筆でも結構です。上記期日以降に変更等があっても計画書に反映させる必要はありません。
- (5) 監督リーダー会議時に提出できるよう準備をしてください。ただし、防水袋は不要です。

2 開会式終了後の審査について

開会式終了後に、以下の課題テスト、並びに審査を同時に実施します。同一の選手が複数の課題テスト・審査を受けることはできません。

- ①自然観察課題テスト（時間20分：1名） ②救急課題テスト（時間20分：1名）
③気象課題テスト（時間20分：1名） ④天気図作成（時間40分：1名）

- (1) すべての課題テストは、黒色の油性ボールペンを用いて解答するものとし、消えるボールペンは使用しないでください。
- (2) 自然観察、救急、気象のすべての課題テストに共通課題2点分を含めます。出題範囲は、①予報1号の「1はじめに」、「2脊振山・井原山山系の自然」、「3大会山域の主な名称」、「5大会日程」②九州高体連ウェブサイトに掲載のコース地図（以下大会地図）とします。
- (3) 自然観察課題テストは、共通課題に加え、予報1号の「4大会コース案内」、大会地図の1：25000地図に記載されている主な事項、1：25000地形図を活用する上で必要な基礎的な事項、主な登山用語（「登山部報第68号」掲載）から出題します。実際の登山に役立つ知識の有無を審査する観点から、地図記号を書かせる、漢字表記の正誤を問題にする、といった出題は行いません。

- (4) 救急知識課題テストは、共通課題に加え、『登山の医学「予防とファーストエイド」』（「登山部報第68号」掲載）をもとに、傷病の予防や応急処置についての実践的な知識を問う内容を出題します。実際の登山に役立つ知識の有無を審査する観点から、漢字表記の正誤を問題にする出題は行いません。また、今回は標高2000m以上の登山はありませんので、「7章 高山病」からの出題は行いません。
- (5) 気象知識課題テストは、共通課題に加え、統一学習資料「登山と気象知識」（「登山部報第68号」掲載）の「Ⅰ 登山と気象」をもとに、気象現象の原因や仕組みと変化の傾向、気象に関する情報の活用、観天望気等についての実践的な知識を問う内容を出題します。実際の登山に役立つ知識の有無を審査する観点から、漢字表記の正誤を問題にする出題は行いません。
- (6) 天気図作成は、「全国高等学校登山大会＜審査基準と指導目標＞）」と「全国高等学校登山大会審査確認事例」、ならびに「登山部報第68号」掲載の統一学習資料「登山と気象知識」の「Ⅱ 地上天気図の書き方」に基づいて審査を行います。作図時間は気象通報（録音）の放送開始から40分間です。また、天気図用紙は、「日本気象協会版ラジオ用天気図用紙1号（初級用）」を基にしています。気象通報は過去のデータを録音したものを使用します。

3. 7月6日(日)の下山後、北山東部小学校または旅館にてテスト類の返却を予定しています。詳しい場所・時刻等は当日連絡します。監督も同席してください。質問は「全国高等学校登山大会審査確認事例」12(4)の通り、得点の合計ミス、および明らかな採点ミス以外は受け付けません。指定された時間内に監督、リーダーまたは担当した選手が、審査員に申し出てください。ただし、審査員はその場で事実確認のみ行い、回答はいたしません。なお、監督・選手による異議申し立て等は、マナー点の減点になることがありますので、ご了承ください。

4 諸審査について

原則、「全国高等学校登山大会＜審査基準と指導目標＞）」と「全国高等学校登山大会審査確認事例」をもとに審査します。なお、九州大会における装備（個人携行品）の「大会地図」は下記の通り扱います。

実施要項の「15連絡事項」（3）に記載の通り、地図は、国土地理院発行の地形図（縮尺 1:25,000、「中原」・「脊振山」・「雷山」図幅）を チームで1枚ずつ用意し、チームの代表1人がまとめて装備すること。また、他の3人は九州高体連ウェブサイトに掲載の大会地図をプリントアウトしたもの（モノクロ可）をそれぞれ装備すること。

5 記録書について

- (1) 「記録書」は令和6年度の全国大会と同様のフォーマットのものを使用します（不明な場合は各県専門委員長へお尋ねください）。
- (2) 「記録書」はA4縦の1/4サイズ、横書きで、2冊の分冊です。1冊のページ数は20ページです。それぞれ工夫して1日1冊で足りるように記入してください。
- (3) 第1冊目は、登山行動第1日目朝の引継式の際、第2冊目は、登山行動第2日目朝の引継式の際に配付します。適切な防水の準備をしてください。
- (4) 「記録書」への記載は、日時の経過に沿って順次記載してください。（審査確認事例9 行動記録を参照）なお、「予報1号」大会コース案内においてアンダーラインが施されている地点（幕営地から記録書を回収する地点まで）を記載してください。また、それ以外で休憩を取った場合は、「地点名」をその場所の地名もしくは休憩地点としたページを作成し行動記録を記載してください。幕営地と記録書を回収する地点については、アンダーラインが施されていなくても記録書に記載してください。
- (5) 「記録書」の提出については、行動中に指示があるので、提出できるように準備しておいてください。「記録書」が手元にない場合は審査の対象としません。

6 読図技術について

読図ポイントの記入に使用する黒色ボールペンは、0.5mm 以下の太さの油性のものとし、消えるボールペンは使用しないでください。規定以外のボールペンで書いた場合は、0点となる場合もあります。また、読図用地図はオンライン地図を利用して作成する関係で、標高が令和7年4月1日以降のものを利用いたします。あらかじめご了承ください。

7 その他

(1) 計画書（概念図・断面図等）の作成、および記録書の記入等に際し、開催県事務局から示された予報1号の大会コース案内「1日目：脊振山コース」「2日目：井原山コース」に掲載されているアンダーラインが付された地点名、および大会地図に記載された地点を主要地点とします。

(2) 自然観察課題テスト、救急課題テスト、気象課題テスト、天気図作成等で不正行為が認められた場合、当該のテスト（または審査）は0点とします。

(3) 「班離脱・隊離脱・行動離脱・棄権」について

各隊の隊長はその権限において、参加選手の安全を最優先し、また、医師の進言などによって「離脱」を命ずることがあります。なお、監督団の山中における位置によっては、事後承諾という事態もあり得ることをご理解ください。

(4) 「差し入れ」が「支援」と判定される場合があります。ただし、大会本部より全チームに支給される物品・食品等については「支援」とは見なしません。また、登山行動中の選手と監督の接見は、コース隊長が認めた時だけとします。監督以外の部外者との接見についても同様とします。

(5) 今大会のチーム行動について（全国大会のチーム行動に準じます。「登山部報第68号」掲載の「チーム行動について」を確認してください。）

ア チーム行動中、選手と監督とは別行動となります。

イ チーム行動中も通常通りの審査を行います。

ウ チーム行動中は先頭にコース副隊長、最後尾にコース隊長が位置します。

先頭のコース副隊長を追い越さず、最後尾のコース隊長に遅れることがない歩行ペースで行動してください。行動時間は、天候、コース状況等で変更になる場合もありますが、以下の時間帯を予定しています。

脊振山コース（脊振山キャンプ場～脊振山～脊振山キャンプ場）

審査としては設定しない。運営の指示に従って行動すること。

井原山コース（山中キャンプ場～三瀬峠）

男子 規定時間 150分 制限時間 170分

女子 規定時間 170分 制限時間 190分

なお、変更があればチーム行動実施日の朝の引継ぎ式で連絡します。また、時間設定が二つあります。

①「制限時間」：普通に歩いて全チームがゴールできる時間。これを越えると今後の登山行動で、運営に支障が出る時間。部報にあるように隊離脱扱いになります。可能なら自力で移動、支援が必要なら行動離脱。

②「規定時間」：ある程度の力があればゴールできる設定時間。タイムレースではありません。時間内にゴールすれば要した時間に対する体力減点はありません。この時間を越えるチームがあれば超えた時間に応じて体力点に差をつけます。詳細は審査委員会で決定します。

エ チーム行動途中に読図ポイントを置くこともあります。ポイント付近では休憩せず、休憩をとる場合は他の登山行動の邪魔にならないようにしてください。

(6) 「審査確認事例12(7)」にあるとおり、GPS機能を有する機器は、所持してはいけません。皆さんの安全を確保するためにチームに1台ずつ緊急連絡用の携帯電話（スマートフォン）の所持を認めます。その他の携帯電話は必ず預かり荷物に入れてください。緊急連絡用の携帯電話は、十分に充電してスイッチを切り、監督・リーダー会議時に提出できる状況にしてください。厳封して、その場で返却いたします。厳封以外の携帯電話の所持および使用、緊急時以外の状況で厳封が解かれた場合には読図技術を0点とします。